

令和6年度 第1回富里市まち・ひと・しごと創生有識者懇談会
議 事 録

〔日時〕 令和6年8月30日（金）

14:00～15:00

〔場所〕 富里市役所分庁舎2階大会議室

■ 出席者（順不同）

- （座長） 寒郡 茂樹委員【富里市商工会】
（職務代理者） 根本 実 委員【富里市農業協同組合】
瀬良 光弘委員【富里市区長会】
佐藤 恭子委員【まちづくりコーディネーター】
坂本 裕子委員【富里高等学校】
浦辺 隆司委員【千葉銀行富里支店】
小坂 陽一委員【千葉県総務部デジタル改革推進局】
渡邊 薫 委員【富里市学校専門指導員】
渡邊さとみ委員【株式会社広域高速ネット二九六】
高梨 弘子委員（代理：宮崎）【成田国際空港株式会社】
（事務局） 経営戦略課（山崎課長、鈴木課長補佐、成毛主査、相川主査）
（傍聴者） なし

■ 議題

- (1) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和5年度実績の効果検証について
【資料1-1、1-2】
(2) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について
【資料2、別添資料】

■ 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1-1 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証について（令和5年度実績）
- ・ 資料1-2 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況シート
- ・ 資料2 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について
- ・ 別添資料 現行総合戦略本編抜粋（30、31ページ）

1. 開会

2. あいさつ

富里市長よりあいさつ

3. 委員紹介

4. 座長選出

互選により、寒郡茂樹委員が座長に決定。

座長指名により、根本実委員が職務代理者に決定。

5. 議題

- (1) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和5年度実績の効果検証について
〈資料1-1、1-2を基に事務局より説明〉

座長

- ・それでは議題（1）について、委員の皆様からご意見等を1人ずつ伺っていきたいと思います。

委員

- ・千葉銀行は地域の金融機関として、富里市の発展に資するような取組をこれからも継続してやっていきたい。今後も市と連携を密にして情報交換しながら取り組んでいくのでよろしくお願ひしたい。

委員

- ・実績の資料をみると幅広い分野の施策を順調に進めているなど感じる。地方創生の施策は、全国の自治体が知恵をしぼり競い合うように取り組んでいる。富里ならではの施策を打ち出し、選んでいただけるよう磨き上げていっていただきたい。

委員

- ・学校現場もコロナがあつて様変わりした。良い面と悪い面があるが、良い点としては、国のギガスクール構想により小中学校の児童生徒全員にタブレット端末が配布され、登校できなくてもリモート学習ができたり、情報共有等ができるようになった。またICT支援員の配置により教員のICTに関する技能も高まった。一方でキャリア教育に関しては、今の子どもたちは身体的な成長は著しいが、社会参加意識や勤労に対する意欲が不足している。今回の実績上からもコロナの影響もあつて受け入れを拒む企業が多いとのことで、新しいキャリア教育の在り方を考えていく必要がある、今後の課題であると考えます。

委員

- ・昨年、今年と続けて放送番組の賞を受賞し、その内容を紹介したい。番組内容は、ネクステップという高齢者の自動車運転に関するもので、高齢者でも不便地域では運転をせざるを得ないこと、運転技能に起因した交通事故の状況、家族や行政の協力のもとでの免許返納などを取り上げている。今後の富里市にとっても高齢者福祉の充実に関する取組や高齢者等が住みやすいまちづくりのヒントとなると考え紹介させていただいた。

委員

- ・成田空港は、航空需要がコロナ禍前の約9割まで順調に回復してきている。そのような中、新しい成田空港構想検討会を立ち上げ、今後の成田空港の在り方について、有識者や周辺自治体の首長に参加いただき、構想をとりまとめ7月に国に提出した。その中の4つの柱の一つがまちづくりであり、空港と地域が連携し、一体的・持続的な発展のための方向性を示すものであり、空港としてその役割をしっかりと果たしていきたいと考えている。

委員

- ・42年間富里に住み、約30年間コンピューター会社に勤めてきて、コンピューターの歴史やシステムの構築、外国との取引による諸外国の特性など、これまでに様々な経験を積んできたので、そこから得られた知識を活かして、富里市の地方創生のためにお役に立てればと思っているので、よろしくお願ひしたい。

委員

- ・進捗状況シートを見て、2点ほど気が付いたことがある。
1点目は、進捗が不十分な評価となっている目標等に対し、今後の改善策として、周知・啓発に努めていくとの考察が多く見受けられるが、現在も市HPやLINEなどのツールも含め努力されていると思うが、これらに限らず、ありとあらゆる手法・方法を駆使して周知していく必要があると感じた。
2点目は、各施策はそれぞれの担当部署単独で取り組まれていると思うが、横の連携により事業を展開していくことで、事業に深まりや広がりが表れ、より大きな事業効果が得られるのではないかと感じた。

委員

- ・すいか農家は減少気味であるが、市からの支援もあり農家の励みになって維持できている。
- ・今年度から夏季の高温対策支援も始まり、基幹産業の農業に対する市からの支援も充実している実感がある。
- ・すいか農家さんの若手の方々も、すいかのみならず、季節に応じて薬物の作付けを行うなど、年間を通した営農に工夫されている。また、スマート農家、機械化など近代化も進みつつある。
- ・日常生活の中での印象として、外国人住民が増えた実感がある。

富里市の外国人市民比率は 7.8%で県内 1 位と聞くと、多様な国籍の方々がおり、共生していくための施策が重要と考える。

委員

- ・ 高校に関連して 5 点ほど述べたい。
 - 1 点目として、生徒数が減少傾向にある中で、地元富里市出身の生徒も少しずつ減ってきているので、富里市にある高校としてもっと魅力を高めていきたい。
 - 2 点目として、多国籍の外国人の生徒が増えてきており、指導等に苦慮している。市とも連携して取り組んでいきたい。
 - 3 点目として、貧困に伴う不登校が深刻であり、これについても市と連携できればと思う。
 - 4 点目として、次年度コミュニティスクールとしての取組をしていく。地域や地域の企業とも連携していきたいので協力願いたい。
 - 5 点目としては、今年度、次年度に学校安全研究指定校となる。地域防災の観点から、地域や自治体で実施される防災訓練など連携できればと思う。

座長

- ・ 複数の意見があったが、外国人材の受入が急務と考える。成田空港周辺 9 市町の規制緩和（特区）が検討されており、その中のメインが外国人材の雇用に関する規制緩和である。富里市は外国人市民の割合が多いことを考えても、多文化共生施策が重要であり、関連施策の充実・拡充が必要。
- ・ 観光入込客数について、富里市は空港周辺 9 市町の中ではかなり低い状況である。実績を評価する上で空港周辺市町との比較分析なども必要ではないかと考える。

事務局

- ・ 様々なご意見ありがとうございました。

外国人材の課題、キャリア教育、高齢者が住みやすい地域づくり、これらの課題につきましては、これから重点的に施策を展開していこうと検討しています。

また、基幹産業である農業につきましても様々な支援事業を実施しており、今後も継続できるよう努力していく。

外国人材の課題につきましては、成田空港の機能強化に伴い、特区要望の動きがありますが、本市としても現在多文化共生施策に取り組んでおり、これからも今後の動向を見据えた準備をしっかりと行うとともに、国・県に対しても同様の要望をしています。

今後も各分野の方々としっかりと連携していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(2) 第2期富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について
〈資料2、別添資料を基に事務局より説明〉

座長

それでは、これについてはDXに関する改訂ということですので、千葉県庁のデジタル分野担当である小坂委員からご意見等を伺いたいと思います。

委員

- ・今回お示しの改訂方針については、異論等はない。
- ・今後施策を進め評価していく上で留意してもらいたい事を述べると、まず、デジタル技術は、あくまでもツールであるということ。大切なことは、課題を発見し把握すること、その課題解決のためにどうしたらよいのか、そのためにデジタルの有効な機能を活用して課題解決に繋げていくという考え方が正しいのだと思う。
- ・デジタル技術を活用して何を解決するのかという点に焦点を置いて施策を組み立ててほしい。
- ・異なる分野の連携強化もデジタルの得意とする部分である。
- ・行政の業務改善にも有効である。窓口業務のフロントヤード改革、行政事務をデジタル処理するバックヤード改革、データベースによるデータ連携改革の3つの改革に有効であり、これらのことも念頭において施策の検討を進めていただきたい。

座長

- ・ありがとうございました。
他にないようですので、以上で、議題は終了といたします。

6. その他

(事務局) 次回懇談会開催スケジュールについて

7. 閉会